

2016-2017 年度 第 1712 回例会 宇都宮南ロータリークラブ会報

会長：安齋誠一 幹事：関口 隆 広報委員会リーダー：酒澤伸二

例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ ≪水曜 12：30≫

事務所：宇都宮市大通り 2-4-6 ホテルニューイタヤ内

TEL:028-635-5511 (ホテルニューイタヤ)

2 月 第 3 例会

2017 年 2 月 15 日(水)



会員数 51 名 出席 30 名

司 会

磯貝 太 S. A. A

- ロータリーソング「それでこそロータリー」

ビジター紹介

長谷川 博夫 副委員長

- 高尾 初江 様 日本ユネスコ国内委員会 日本ユネスコ国内委員会委員
開倫塾 塾長室長 国際事業部部長 (卓話者)

会長挨拶

安齋 誠一 会長

皆さんこんにちは。

最近、頻りに高齢者の問題点や健康方法がマスメディアで取り上げられております。免許証更新や医療保険等に制限が出て参りました。年齢で制限されますと、現役の私達には切ない感じが致します。テレビでお馴染みの「サザエさん」の連載を始めたのが昭和 20 年で、その当時の父親の「波平」は 54 歳の設定だったそうです。当時の 54 歳はあのような顔かたちだったのです。それをふまえますと現在の 54 歳はとても若い事に驚かされます。会員の皆様の中にも 70 歳を過ぎた方がいらっしゃいますが、仕事も運転も運動もバリバリこなしています。過日の新聞で、65～75 歳は準高齢者、75～85 歳が高齢者、85 歳以上が超高齢者とする案が医学部会と高齢者研究会が国に提案したと掲載されていました。自分では気持ちは 55 歳です。是非 70 歳以上の会員の皆様頑張って参りましょう。


ロータリー財団表彰

ポールハリスフェロー表彰

金田 秀壽 会員 マルチプル 3 回目

若林 博純 会員 マルチプル 2 回目




 幹事報告

関口 隆 幹事


§ 手続要覧 2016 年度版が届いております。後日レターボックスに配布致します。


 スマイル BOX 委員会報告

嶋田 辰雄 委員長

- § 安齊誠一会長 先日、誕生日の花をいただきましてありがとうございました。また、本日は高尾様、卓話をよろしくお願い致します。
- § 坂本昭一副会長 本日の卓話、高尾様よろしくお願い致します。
- § 関口 隆幹事 本日の卓話、高尾先生、ユネスコ大使だったヘップバーンのファンでした。
- § 岩本一男会員 今日は日本ユネスコ国内委員会委員かつ足利に本部のある開倫塾の事務長でもあります高尾様、卓話よろしくお願い致します。
- § 中野智之会員 IM実行幹事の中野です。来週のIM多くの会員の方の出席をいただきました。ありがとうございます。がんばります。
- § 藤島 拓会員 次年度の財団補助金管理セミナーに坂本副会長、仲田会員と一緒に参加しました。次年度に地区補助金をもらえるようにがんばります!!
- § 荻原英美会員
1. 中小企業投資税制で、生産設備 160 万円以上、器具備品等 30 万円以上で 7%の税額控除が受けられます。
 2. 所得拡大推進税法で 2%以上前年比賃金が上がると 10%の法人税減税が受けられます。
 3. 給与所得 150 万円以下の収入で 38 万円の配偶者控除が受けられます。
- どうぞ有効な税制を利用してください。
- § 仲田俊夫会員 まだ寒さが続きそうですが、庭の梅の花が咲きました。もうすぐ春がやって来ます。寒さに負けずロータリー活動がんばりましょう。
- § 若林博純会員 IRの先駆け、岡田マニラを見て来ました。まるでラスベガスでした!!2年後フルオープンが楽しみです。

多くの会員の皆様にご協力戴きありがとうございました 今週の金額 9,000 円


 IM実行委員会 報告

中野 智之 実行幹事

§ 次週、IM開催につき会員の皆様は 16:00 ホテルニューイタヤ 1Fロビーに集合してください。



外部卓話

日本ユネスコ国内委員会 委員
開倫塾 塾長室 室長・国際事業部長

高尾 初江 様



文部科学省 日本国内委員会委員の高尾初江です。

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の評議委員、開倫ユネスコ協会の事務局長をしております。

日本国内委員会委員は、パリのユネスコ本部からユネスコに関連したものが、日本政府へ入る窓口です。60名以内の委員で構成されており8つの小委員会があります。事務局は、文部科学省国際統括官付に置かれ日本における事務総長は文部科学省国際統括官が努めています。

民間ユネスコ運動から11名が選出されていて高尾は関東甲信越の代表です。現在推進しているのは、ESD 持続可能な教育開月のための教育 ESD です。学校におけるユネスコスクールの活動も活発に行われています。また、SDGS 持続可能な開発目標が競ってされ評価や成果が求められます。

最近では国立西洋美術館を含むル・コルビュジェの剣突作品が世界遺産に登録されました。近くに行った際には立ち寄ってみてください。

はじめに

1. 開倫ユネスコ協会は、ユネスコの基本理念のもと、人間の安全保障を掲げ、平和の鐘を鳴らそう運動や学習への意欲・関心を育てる理科教室（ESD）、ドッジボール大会の開催や文芸大賞の実施、ルワンダの教育を考える会への支援や、震災・災害からの復興支援（東日本大震災、ネパール大地震、熊本地震）等の活動を行っています。
2. 戦争と平和について考える
 - (1) 当協会が実施する「平和の鐘を鳴らそう運動」は今年で17年目を迎えました。毎年地元寺院の協力を得て、地域の小・中学生が参加し、開催しています。
 - ①足利市小曾根町の永宝寺・高木住職より、戦争の悲惨さと平和の尊さ、感謝の心について子ども達にお話頂き、その後わたしの平和宣言を読み上げ、ひとり一人が平和への祈りを込めて境内の鐘を撞きます。
 - ②足利市にある国宝・鑿阿寺の山越住職には、戦時中の足利の様子について子ども達にお話頂き、平和宣言を読み上げながらその意味を深く考え、600年前に作られた鐘をひとり一人撞いて平和を祈ります。
 - ③寺院から遠い地域の会員や子ども達にも「わたしの平和宣言」を配布し、それを読み上げ、平和への祈りをこめて様々な音を鳴らす機会を設けています。
 - ④毎年多くの小・中学生が参加するこの活動では、参加者に戦争と平和についてのアンケート調査を行い、ニュースレターでの発表を行っています。今年は、先日沖縄で行われたユネスコ全国大会で伺った、戦時中の沖縄についてのお話、また、その資料をもとに、会員が地域の子供達に話をし、その様子や感想をニュースレターにまとめました（別紙参照）。

(2) 開倫ユネスコ協会が主催する「文芸大賞」のエッセイ部門では、募集テーマのひとつとして、「戦争と平和」を挙げています。地域の子ども達が自分で、また家族や周囲の人と「戦争と平和」について、生活の中で考えたことが、作品として多く寄せられています。

3. おわりに

先に述べた活動以外にも、平和のシンボルとして当協会に寄贈された「被爆アオギリ2世」の地元・足利公園への植樹などを行いました。

今後も、未来を担う子ども達が平和な社会を築いていくための一助となれるように、地域社会に根ざした活動を行ってまいりたいと思います。



11月30日 外部卓話

※2月26日鶴澤様より卓話原稿が届きましたので掲載致します※

東京商工リサーチ 宇都宮支店
支店長 鶴澤一平 様



歴史あるクラブにお招きいただき誠にありがとうございました。
転勤後はこうした機会も多く緊張の中、お話をさせていただきました。

当日は栃木県内の経済情勢についてお話をさせていただきました。県内の社長様の平均年齢が61.9歳との事から上手な事業継承が事業継続のポイントとなるという一方で県内において新生法人数は前年比15.2%増の1270社まで拡大、5年連続で1,000社以上の会社が設立され、小資本投資で創業されるケースが多く見受けられます。

又、県内37,261社中、3,779人が女性社長であり、10.14%を占めるなど女性を上手に活用することも企業発展のヒントかも知れません。最後に地方創生といわれてもやはり最後は時代の変化に合わせて自社で工夫していくことが必要ということで締めさせていただきます。先行きが不透明な時代において時系列にまとめた企業情報のご要望がございましたら是非、当社にお声掛けくださいますようよろしくお願いいたしますとします。



出席報告

長谷川 博夫 委員

会員数 51名 出席数 30名 欠席数 21名 出席率 66.66%
前々回 2月1日 訂正率 70.21%



次回例会

2017年2月22日(水) 第2550地区第3グループA・B
インターシティーミーティング(ホスト)